

令和4年8月教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和4年8月19日(金) 午後2時から

2 場 所 教育プラザ 大会議室

3 出席者

教育長 早川 義裕 1番委員 大谷 和弘 2番委員 本間 倫子
3番委員 山縣 知子 4番委員 小林 晃彦

(教育長及び委員以外の出席者)

教育部長 市川均、教育総務課長 瀧本幸次、教育総務課参事 小林秀智、教育総務課参事 石澤克明、学校教育課長 牧井創、学校教育課参事 水澤一彦、社会教育課長 小嶋栄子、社会教育課参事 宮崎英紀、文化行政課長 新保誠吾、スポーツ推進課長 吉田正典、高田幼稚園長 中嶋賢一、教育センター所長 竹内学、高田城址公園オーレンプラザ館長 岩野 俊彦、高田図書館長 小暮ひろ子、直江津学びの交流館長・直江津図書館長 渡辺富士雄、青少年健全育成センター所長 曾我茂樹、歴史博物館長・小林古径記念美術館長 宮崎俊英
事務局 教育総務課副課長 加藤弘之、企画係長 小酒井洋平、企画係主事 八木春佳

4 傍聴人 0人

5 会議に付議した事件

議案第40号 令和3年度上越市一般会計(教育費)歳入歳出決算認定について
議案第41号 令和4年度上越市一般会計(教育費)補正予算(第3号)について
議案第42号 令和3年度上越市第2次総合教育プランに基づく教育委員会の施策の点検及び評価について

教育長開会宣言 午後2時

会議録署名委員の指名 本間 倫子 委員

教 育 長	議案第40号から41号については、上越市教育委員会会議規則第15条の規定により非公開としてよいか。
	全委員同意
教 育 長	議案第40号令和3年度上越市一般会計(教育費)歳入歳出決算認定について、説明を求める。
教育総務課長	(非公開)
教 育 長	議案について意見、質問を求める。
	(意見、質問内容非公開)

教 育 長	<p>それでは、議案第 40 号について、ご承認いただけるか。</p> <p>原案どおり承認</p>
教 育 長	<p>議案第 41 号令和 4 年度上越市一般会計（教育費）補正予算（第 3 号）について、説明を求める。</p>
教育総務課長	<p>（非公開）</p>
教 育 長	<p>議案について意見、質問を求める。</p> <p>（意見、質問内容非公開）</p>
教 育 長	<p>それでは、議案第 41 号について、ご承認いただけるか。</p> <p>原案どおり承認</p>
教 育 長	<p>議案第 42 号令和 3 年度上越市第 2 次総合教育プランに基づく教育委員会の施策の点検及び評価について、説明を求める。</p>
教育総務課長	<p>本件の内容は、先般、教育委員会 6 月協議会において教育委員の皆様から多くのご意見等をいただきながら、ご協議いただいたものである。また、7 月 25 日に有識者による外部評価として、上越教育大学大学院の中野博幸教授、辻村貴洋准教授のお二人からご意見をいただいております、その内容は、別冊の 45 ページに掲載している。</p> <p>施策の推進に向けて参考となるご意見をいただいたので、第 3 次総合教育プランの策定にいかしたいと考えている。個々の変更内容は、教育委員の皆様や有識者の方たちのご意見、ご質問のやりとりを反映したものとなる。</p> <p>本日、この報告書案について承認をいただいた後、8 月下旬に市議会へ報告するとともに、市民の皆さまに公表してまいりたいと考えている。</p>
教 育 長	<p>議案について意見、質問を求める。</p> <p>有識者の方々からのご意見は 45 ページに具体的にまとめてあるが、いろいろご意見いただいている。特に、取組と成果指標との関係がマッチしていない、成果指標を設定することが難しい項目がある中で、実際に取り組んだことが正当に評価されていないのではないかとのお話をいただいている。</p> <p>簡単に解決する問題ではないと思うが、より客観的な指標や、例えば自由記述のような形式にして、取組と成果がリンクするような評価の仕方ができないのかというご意見もいただいている。</p>
小 林 委 員	<p>教育長のお言葉の中にあつたように、辻村先生からのご指摘が、どの項目も多く影響を受けていると思うし、これは悩みながらも改善していく必要がある問題だと思う。例えば、施策 1-1「学ぶ意欲を高め、主体的に学ぶ学習指導の推進」のところで、目標としている文言に対して、成果指標がNRTのみになっている。</p> <p>NRTだけを成果指標にしていると、学校もNRTの影響を必要以上に受けしてしまう可能性があるし、教育委員会の取組として、国語・算数・英語に限っていくと、学校の教育課題が国語・算数・数学・英語になってきている。小学校の先生にお聞きすると、理科や社会科に苦手意識を持っている先生が大勢いるというお話も聞く。</p> <p>校内研修も国語・算数・英語に集中してきていることの影響もあるのかもしれないので、成果指標を作成するとき、目標に応じた成果をどこでどう評価するのかについて、時間をかけて研究していく必要があると思う。</p> <p>次に、それぞれの施策と施策との間の関係に少し心配するところがある。例えば小中一貫教育について、施策 1-3 では「学力に焦点化していく」と言っておきながら、キャリア教育、特別支援教育、道徳教育などの項目では「小中の一貫性を大事にしている」というような記述になっており、食い違いが出てきている。その辺り</p>

も注意深く見なければならぬし、そもそも上越市が小中一貫教育を、なぜ重点的に取り組んできたのかという理念に立ち返って、今後の取組を考えた方が良く思った。

学校教育課長

目標と成果指標との関係について、まだ我々も頭を悩ませている。NRTでは評価できない部分の評価をどのようにするのか、どういった評価をしていけば一番いいのかということの検討を始めたところである。

施策 1-3 について、小中一貫はどの事業にも関わってくるものであり、他の施策との関係もあって、今後第 3 次総合教育プランの施策の項目立てにも影響してくるかと考えており、検討を始めている。

大谷委員

上越教育大学の中野教授もおっしゃっているが、GIGAスクール構想が前倒しになり、国の補助でタブレット端末を 1 人 1 台ずつ整備されたが、必ず今のタブレットが陳腐化して入れ替えの時期が来る。私が昨年度に質問した時は、その時の価格がどうなるか分からないから、今は検討していないというご回答だった。しかし今は円安の関係で、Apple 製品の価格は一気に上がっており、価格が上がる前では一番安かった 4 万円弱の iPad が今後値下がりとして、どのぐらいまで下がるのか。もし円高になったとしても半分にはならないだろうし、今回の世界情勢が落ち着いたとしても、おそらく 3 万円台のままであり、それより安いものになると Apple ではなく Android を使わなければならなくなって、また学校現場に混乱が出ると思う。

大事なのは、陳腐化してしまったときに、国や公的なお金で一気に全部を入れ替えるのは、おそらく不可能だということである。そうすると、保護者に買っていただくことが必要と思うが、今のうちからこの計画を立てておかないとおそらく現場も混乱するし保護者も混乱するだろう。そうならないように少しずつ対策を立てていただきたいと思う。メーカーサイドの考え方でいうと、性能が上がって価格は下がらないということになると思う。価格云々にかかわらず、入れ替えのタイミングになったときにどうするのかを今から計画立てていただきたい。

学校教育課長

買い替えについては頭を悩ませているところであり、個人持ちの端末も今後検討していかなければならないのではないかとご指摘もいただいている。そのためには、学校でこれだけ活用しているおり、他の教科書やドリル等と同じように必要なのだと、今のうちから子どもたちと保護者に伝えていく取組が必要ではないかとご示唆いただいている。

また、BYOD の時代が変わっていく中で、それに対応するような、システムも考えていかなければならない。登録している端末だけでなく、個人持ちの端末でも使えるような仕組みづくりも場合によっては必要ではないかと考えている。

小林委員

生涯学習だけの話ではないが、施策 5-1 「人づくり、地域づくり充実のための支援」の実施状況で「市内の生涯学習活動に取り組む団体・サークルや学習指導者の情報を集約して市ホームページに掲載するとともに」等のように、いろいろな課の取組の中でホームページを通した周知というものが出てくる。それで上越市ホームページを開いてみると、該当ページに辿り着くのが難しいということが分かった。教育というと学校教育を市民の皆さんは思い浮かべてしまうので、市のホームページの構造上探すことが難しいと思っている。

「学ぶってかっこいい」という新たな教育大綱ができた時に、「学ぶ」というバナーを大きく設けてそこから入っていけるようにする等、市民が何かを学んでいく時のガイドになるような筋道を作っていただくと良いサービスになると思う。

教育部長

教育大綱は「学ぶ」ということをテーマにしているので、ホームページに「学ぶ」を強調したものを入れ、そこから探しやすいということは大切なことだと思う。そういったことをどんどん実現していきたい。

それでは、議案第 41 号について、ご承認いただけるか。

原案どおり承認

閉会宣言

午後 2 時 33 分

令和 4 年 9 月 28 日

上越市教育委員会

教育長

早川 義裕

会議録署名委員

本間 倫子